

令和9年度 学生募集要項

求める学生像(アドミッションポリシー)

山口県立農業大学校では、以下に示す能力、適性、意欲をもち、全寮制のもとで実践学修を行い、地域農業の担い手及び指導的役割を果たすことをめざす人を求めています。

- ① 農業に対して強い学修意欲を有する者
- ② 自ら考え、自ら行動できる独創性を有する者
- ③ 共同生活に適応でき、協調性を有する者

1 教育の特徴

(1) 実践教育

学生自らが「課題」「計画」「実行」「評価」するプロジェクト学修法により、農業の実践力を養います。

(2) 全寮制

寮生活を通じて、良好な仲間づくりや協調性、コミュニケーション能力を養います。

(3) 個々の学生に応じた進路指導

本人が希望する就農・就業に確実に結びつけるため、就業ガイダンス、短期研修（インターンシップ）、先進農家等派遣研修（2年次）等を実施します。

2 入学試験と詳細

(1) 募集学科及び募集定員

| 学 科 | 専 攻 | 定 員 | 修業期間 |
|--------|-------------------------------|-----|-------------|
| 土地利用学科 | — | 10人 | 2年 (全寮制) |
| 園芸学科 | 野菜経営コース 花き経営コース 果樹経営コース | 20人 | |
| 畜産学科 | 酪農経営コース 肉用牛経営コース | 10人 | |

※ 推薦入試の推薦枠は、学科別定員の概ね70%とします。

(2) 試験日程

| 区 分 | 出願受付期間 | 入学試験日 | 合格発表日 |
|------|---------------------|---------------------------------------|-----------|
| 推薦入試 | 9月2日(水)～ 9月25日(金) | ※ ¹ 10月7日(水) (10月8日(木)) | 10月20日(火) |
| 一般入試 | 一次募集 | 11月4日(水)～11月18日(水) | 12月2日(水) |
| | ※ ² 二次募集 | 1月8日(金)～ 1月22日(金) | 2月3日(水) |

※¹ 推薦入試は、受験者の人数により2日間の実施になる場合があります。

※² 合格状況により、二次募集は行わないことがあります。

(3) 試験場所

山口県立農業大学校（山口県防府市牟礼10318）

(4) 出願資格

学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者（卒業見込みの者を含む）又はこれと同等以上の学力を有すると知事が認めた者となります。なお、推薦入試の出願資格は、次の要件①～④の全てを満たす者となります。

- ① 当該年度に卒業する者で、高等学校等の校長の推薦を受けられる者
- ② 山口県農業の担い手となることに強い意欲を有する者
- ③ 本校の教育方針に基づき学業を全うし、集団生活ができると認められる者
- ④ 合格した場合に、必ず本校に入学する者

(5) 各入学試験詳細

試験科目の得点をもとに総合的に判定します。

| 選考方法及び試験内容 | | | | 推薦 入試 | 一般 入試 |
|------------|------------------|------|-------|----------|----------|
| 試験科目 | 出題範囲 | 配点 | 時間 | | |
| 筆記試験 | 読解問題及び600字程度の小論文 | 250点 | 60分 | ○ | ○ |
| | 数学（数学Ⅰ程度） | 250点 | 50分 | | ○ |
| 面接 | 個別面接 | 250点 | 10分程度 | ○ | ○ |
| | グループワーク | 250点 | 40分程度 | ○ | ○ |
| 調査書 | — | 250点 | — | ○ | |

3 出願書類

(1) 書類の作成について

学生募集要項に綴じ込みの本校所定の様式（入学願書、出願理由書、推薦書）または本校ホームページ（<https://www.yamaguchi-noudai.jp>）に掲載のWord様式で作成してください。

(2) 提出方法について

持参する場合：土曜日、日曜日及び祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで。

郵送する場合：市販の角形2号封筒に封筒貼付用紙を貼り、受付期間最終日まで。（必着）

| 出願提出書類 | | 出願区分 | |
|--------|---|------|----|
| | | 推薦 | 一般 |
| 入学願書 | 本校所定様式による ※写真：縦4cm×横3cmを1枚貼付 ※Word様式で記入の場合、名前は自署してください。 ※土地利用学科、園芸学科、畜産学科の併願ができます。 | ○ | ○ |
| 調査書等 | 高等学校等の調査書 ※卒業後5年以上経過し、調査書の発行が困難な者は最終学歴の成績証明書 | ○ | ○ |
| 出願理由書 | 本校所定の様式による（第1号様式） ※Word様式で記入の場合、名前は自署してください。 | ○ | ○ |
| 推薦書 | 本校所定の様式による（第2号様式） | ○ | |
| 返信用封筒 | A：受験票送付用 受験者住所・氏名を記入した長形3号封筒に460円分（基本料金110円・簡易書留料金350円）の切手を貼付 B：選考結果通知用 受験者住所・氏名を記入した長形3号封筒に460円分（基本料金110円・簡易書留料金350円）の切手を貼付 | ○ | ○ |

(3) 提出先

〒747-0004 山口県防府市牟礼10318

山口県立農業大学校 教務課 入試担当 (Tel 0835-38-0510)

4 合格発表等

合格発表日の午前10時に下記の山口県立農業大学校ホームページに掲載します。

また、同日付で受験者全員に結果を郵送します。

本校ホームページアドレス <https://www.yamaguchi-noudai.jp>

5 入学検定料(受験料)

無 料

6 学費等(予定)

必要な経費等は、変更となる場合がありますのでご了承ください。

(1) 授業料等

| | |
|-------|--|
| 入 学 金 | 無 料 |
| 授 業 料 | 128,160円/年 |
| 寮 費 | 8,400円/年 ※寮費は寮使用料のみ。エアコン使用電気料等は教材費から徴収 |
| 食 費 | 310,000円/年 |
| 育友会費 | 65,000円/年 |

(2) 教材費等

| | |
|----------|-------------------------------------|
| 教材費 | 60,000円程度 ※入学時に60,000円預かり、卒業時に精算。 |
| 実習服・実習道具 | 72,000円～90,000円程度 ※入学時に購入(専攻により異なる) |
| 傷害保険料 | 18,580円程度 ※2年分 |

(3) 資格・免許取得費用

資格・免許取得に係る費用については、別途徴収します。

7 在学中に取得可能な資格・免許(専攻により、取得できる資格・免許は異なります)

| | |
|--------------------|-----------------|
| 大型特殊自動車免許(農耕車限定) | けん引免許(農耕車限定) |
| 刈払機取扱作業安全衛生教育 | フォークリフト運転技能講習 |
| 小型車両系建設機械運転特別教育 | 小型移動式クレーン運転技能講習 |
| 玉掛け技能講習 | 毒物劇物取扱者 |
| 危険物取扱者(乙種第4類等) | 家畜人工授精師(畜産学科) |
| 狩猟免許 | 農業簿記検定 |
| 家畜商講習(畜産学科) | JGAP指導員 |
| 日本農業技術検定(1級、2級、3級) | |

なお、授業の一環で大型特殊自動車免許(農耕車限定)の受験をしますので、原則として、1学年修了時までには、普通自動車免許(マニュアルが望ましい)の取得が必要です。

8 奨学金等

日本学生支援機構や山口県ひとつづくり財団の奨学金制度（貸与型）等を規定に基づき、お申し込みいただくことができます。

その他に、国、市町の助成、奨学金、教育ローン等もあります。

また、高等教育の修学支援制度により、授業料減免が利用できます。

9 障害等のある入学志願者における受験上の配慮について

本校に入学を志願する者で、障害等があり、受験上特別な配慮を要する場合は、事前相談書に基づき配慮内容を決定します。

配慮を希望する場合は、以下により事前相談書を提出してください。

なお、当相談は、入学者選抜における受験者の負担軽減及び他の受験生に比べて不利にならないよう配慮するためのものであり、受験者に不利益を与えるものではありません。

また、当相談は、試験内容や合否にも一切影響しません。

(1) 提出方法

出願書類の提出時に併せ、事前相談書を（2）により提出してください。

なお、出願書類提出時に提出できない場合、農業大学校へ一報の上、出願締切までに提出してください。

(2) 記載事項（様式自由）

- ① 氏名、生年月日、連絡先及び所属（出身）高等学校等名
- ② 出願を希望する試験種別及び学科・専攻
- ③ 障害の種類・程度（医師の診断書を添付すること）
- ④ 受験上希望する具体的措置
- ⑤ 高等学校等における生活状況等（主として授業関係）
- ⑥ その他参考となる事項

(3) その他

配慮の可否及び内容については、別途通知します。

なお、相談の内容によっては、対応できない場合があります。

また、相談の内容によっては、志願者又はその立場を代弁し得る出身高等学校関係者等と面談を行う場合があります。